

令和2年第12回教育委員会定例会 会議録

1 開催日時 令和2年12月16日(水) 午後2時～午後2時30分

2 開催場所 春日井市役所9階 教育委員会室

3 出席者

【教育長】 水田 博和

【委員】 大野 みどり

【委員】 小塩 泰代

【委員】 竹田 卓弘

【委員】 浅井 敦臣

【事務局】 教育部長	松原 眞一
文化スポーツ部長	上田 敦
教育総務課長	西野 正康
学校教育課長	大城 達也
同 主幹	兒島 靖
同 指導主事	南 英雄
学校給食課長	長江 泰典
文化財課長	村松 一秀
野外教育センター所長	木全 敦彦
同 主幹	西岡 靖成
文化・生涯学習課長	内藤 純子
スポーツ課長	中山 裕之
図書館長	田中 裕子
食育推進給食会企画経営課長	生倉 勉
教育総務課課長補佐	渡邊 直美

4 議題

(1) 令和3年教育委員会定例会の日程について

5 議事概要

教育長

本日の傍聴者はありません。

教育長

春日井市教育委員会会議規則第6条第2項の規定により、議事録署名人は、大野委員を指定。

教育長

12月4日(金)に「創意と活力のある学校づくり」支援事業の応募校によるプレゼンテーションを実施しました。委員の皆様にご出席いただきありがとうございます。今年は昨年度より4校多い28校の応募があり、1月上旬の選定委員会で予算の配分について決定する予定です。

新型コロナウイルス感染症についてです。11月26日中学校で陽性者が出たため、11月27日臨時休業措置をとり、校内を消毒しました。そのほか児童生徒や教職員に陽性者は出ていますが、最終登校日からの期間や、濃厚接触者が校内にいないことなどにより、消毒をした後、臨時休業せず平常授業を行っています。

中国の湖北省武漢で最初に確認された新型コロナウイルスの感染者が発症したとされる日から、12月8日で1年となりました。国内で初めての感染者が確認された1月16日、そして3月下旬以降に感染者が急増し、4月下旬ごろを頂点とする波が「第1波」、8月上旬～中旬ごろを頂点とする波が「第2波」と呼ばれています。そして、11月に入って以降、急激に上昇している波が「第3波」です。この「3つ目の波」は、幅広い地域、幅広い年代層に感染が広がっているのが特徴です。職場や学校、会食などで感染した人が家庭内に持ち込んだとみられる「家庭内感染」が最も多い感染経路となっています。

春日井市においても、11月以降急激に増加しています。14日現在470名の陽性者中11月以後が357名で、75%以上となっています。

冬期休業・年末年始に向けて、感染リスクの高まる、1. 飲食を伴う懇親会等 2. 大人数や長時間に及ぶ飲食 3. マスクなしでの会話 4. 狭い空間での共同生活 5. 居場所の切り替わり の「5つの場面」を避けるよう、児童生徒および教職員に徹底を図ってまいります。

小中学校では、先週から今週にかけて2学期懇談会を実施してい

ます。12月22日(火)は給食終了、23日(水)には終業式を迎えます。年明けは1月7日(木)が3学期始業式です。

最後に、漢字1文字で今年の世相を表す「今年の漢字」に、「密」が選ばれました。選定理由として、「密」を避けるための新しい生活様式が提唱され、在宅勤務でのリモート会議、オンライン飲み会や遠方の友人・親類などと映像を通してバーチャルに会う機会が生まれた、物理的距離があるなかでも「密」に人との関わりを持つことができる、また、大切な人との関係が「密」接になり、人とのつながりの大切さを再認識する機会になった、と感じた人も多かった。来年こそは対面で「密」に人と関わり合えるようにとの願いが込められました。

教育長

1 議題

(1) 令和3年教育委員会定例会の日程について

教育長

採決の結果、全員一致で「資料のとおり」決定。

○参考資料について

浅井委員

6ページのいじめ・不登校相談件数について、小学生の11月のいじめ件数4件が初めてあがっているが、スクールサインと関係があるのか。

学校教育課長

スクールサインは中学生が対象ですので、小学生のいじめ件数との関連はありません。

浅井委員

14ページの出張講座とはどのようなものか。

野外教育センター長

野外教育センターで実施している講座を、学校に出向いて開催するものです。

教育長	今年度は小学5年生の野外学習が実施できなくなりましたので、野外教育センターの方に学校へ出向いてもらい、学校で焼杉などの体験学習をしています。
浅井委員	勝川小学校など児童数の多い学校でも実施しているのか。
野外学習センター長	5年生1学年分の人数ですので、実施可能です。
大野委員	<p>公民館で開催する講座について、定員が40人、50人の講座もあるが、コロナ感染が拡大しているなか、人との接触の機会を少なくするように言われているのに、募集人数が多いことが心配だ。</p> <p>また、講座の中止や延期等について、主催者か公民館側か、どこが判断しているのか。</p>
文化・生涯学習課長	密にならないよう、会場の広さに合わせ余裕があるような定員を設定しています。また、講座の中止や延期等の判断については、市において統一して行っておりますが、中止にするか延期にするかは、講師と調整し、各施設で判断しています。